

要介護認定に係る保険者支援策について①

資料 4

検討事項	状況・課題、検討内容	備考
<p>【R5. 6. 23 幹事会（認定分野）】 認定調査員新規研修の開催形式について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症によりR2年度から集合形式を見合わせ、臨時的取扱いとして、動画・eラーニングを主体にWEB研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度のWEB研修は、9月までの措置として実施中 ・10月以降の対応を検討する必要がある ●R5.6月に区市町村にアンケート、近県・政令市に聴取を実施 <ul style="list-style-type: none"> ◇区市町村アンケート結果： <ul style="list-style-type: none"> 臨時的取扱いとして実施しているWEB研修について「有効」「どちらかという有効」・・・ 84% ◇近県・政令市の状況聴取：ライブ・WEB研修、集合研修と様々 <ul style="list-style-type: none"> ※全県市がコロナ5類移行後も、現状のコロナ禍での研修形態を変更する予定はない ●幹事会の討議結果 <ul style="list-style-type: none"> ➤ WEB研修のメリット：利便性・効率性が高い、受講のしやすさ 集合研修のメリット：モチベーションアップ、記憶に残る ➤ WEBと集合を併存させることはできないか 	<p>【参考資料1】 幹事（認定分野）名簿</p> <p>【参考資料2】 研修実績 新規研修カリキュラム対照表</p> <p>【参考資料3】 区市町村アンケート、 近県・政令市聴取結果</p>

要介護認定に係る保険者支援策について②

資料4

検討事項	状況・課題、検討内容	備考
<p>【R5. 6. 23 幹事会（認定分野） 認定関連の研修教材（冊子）の作成</p>	<ul style="list-style-type: none">●従前、幹事会では毎年研修教材(冊子)を作成してきた コロナで新たな教材作成が滞っていたが、現在の教本の改定や新刊の発行が必要 今後の要介護認定の適正化に向けて、作成計画をたてる必要がある●幹事会の討議結果<ul style="list-style-type: none">➤ 複数の幹事から認定調査員の質の向上が最優先という意見あり➤ 調査員向けの冊子として、<u>認定調査員ハンドブックの改訂や認定調査結果の確認</u>について取り組むべきとの提案あり➤ 今後は上記の提案を受け、調査員向けの教材内容を検討し、編集に取り掛かる➤ 幹事以外の区市町村への確認、CMAT講師の協力などの連携を併せて行う	<p>【参考資料4】 認定関連の研修教材(冊子)の作成実績</p>

本日御意見を頂きたい論点

- 要介護認定にかかる調査員等の研修にかかる方向性（研修の実施方法や調査員向け冊子の作成、内容等）について、ご意見があればいただきたい。